



世界に希望を生み出そう

ガバナー月信



Rotary International District 2800 2023-2024

題字：野村百合子（山形北 RC）

国際ロータリー第 2800 地区 2023-2024 年度 | ガバナー 伊藤三之 | RI 会長 ゴードン R・マッキナリー



CONTENTS

- ガバナーマンスリーメッセージ
- ガバナーが語るロータリーの基礎知識
「規定審議会と標準ロータリークラブ定款」
- 第36回 全国ローターアクト研修会 山形会議報告
- 地区研修・協議会報告
- 第1グループIM 報告
- 第4回インターアクト連絡協議会報告
- 米山奨学生オリエンテーション・カウンセラー説明会報告
- 米山奨学生紹介
- 青少年交換学生マンスリーレポート
- ガバナー公式訪問・表敬訪問
- 新会員紹介
- 米山寄付表彰・ロータリー財団寄付表彰



最上川の上流
「道の駅白鷹ヤナ公園あゆ茶屋」
(山形県西置賜郡白鷹町)



山形の宝 最上川の文化的資産50選写真コンテスト 入賞
タイトル：コイのぼりと山桜の共演
撮影者：藤田正治氏（山形市）
撮影場所：道の駅白鷹ヤナ公園あゆ茶屋
写真提供：美しい山形・最上川フォーラム



1 ガバナー公式訪問が完了しました！

昨年7月13日(木)の白鷹RCから始まったガバナー公式訪問も、3月27日(水)の小国RC、28日(木)の山形北RCでようやく49クラブ完了しました。各クラブの皆様、本当にお世話になりました。特に、私のわがままをお願いいたしました夜の合同例会への訪問と懇親会を企画していただいた酒田地区、鶴岡地区、米沢地区、南陽地区、そして尾花沢地区の皆様、ガバナー補佐の皆様にはご苦勞をおかけいたしました。ありがとうございました。

ガバナー公式訪問を通して、各クラブの皆様方のロータリーへの熱き想い、地域社会への愛着の深さ、クラブ会員同士の仲間意識の強さを実感させていただきました。

他方、少しがっかりしたこともありました。昨年3月のPETSそして4月の地区研修・協議会であれほど口酸っぱくお願いした「クラブ定款は2022年改訂版を！」ということを忠実に取り入れていただいたクラブは、49クラブ中5クラブしかありませんでした。多くは、2019年改訂版でしたが、それ以前のをそのまま掲載しているクラブも少なくなく、中には、10数年程前からクラブ定款は全く変えていないというところもありました。

クラブ定款については、本当に多くの方が誤解しています。結論だけを言えば、RI細則によって、世界中のどこでも、ロータリークラブを名乗るのであれば、最新の標準ロータリークラブ定款を採用しなければならないとされているのです。

「自分たちのクラブの定款なんだから、自分たちのクラブの総会で定めることや変更することができ

るはず」、「標準ロータリークラブ定款とやらは、言葉も難かしいし、自分たちのクラブには関係ないことも一杯書いてあるから、そこは削って使おう」、「ロータリーの目的じゃなくて、ロータリーの綱領のときの方が響きがいいので、その時代のものを使おう」・・・全部間違いです！

詳しくは、3頁からの「ガバナーが語るロータリーの基礎知識－規定審議会と標準ロータリークラブ定款－」をお読みください。

2 各クラブのパンフレットは各クラブで作ろう！

ガバナー公式訪問の際のガバナーに対する要望のうち、おそらく最も多いのが、「入会候補者向けパンフレット」は地区で用意してませんか、用意していないとしたら地区内の他のクラブのお勧めのパンフレットがあったら紹介して欲しいのですが、というものです。

私の年度の地区基本方針は、「ロータリーを語ろうそしてロータリーを楽しもう」です。その真意は、ロータリーに関わるいろんなことの由来、ねらい、効果的な手法などなど、とことん語り合い考えてみよう、そうすれば、ほら、具体的なアイデアが次々と浮かぶでしょ、どお、ロータリーって楽しいよね、ということです。

そうすると、入会候補者向けパンフレットも、地区で統一的な物を作成するよりは、各クラブが知恵を出し合って作成した方がいいと思うのです。だから、少なくとも私の年度でこのパンフレットを地区で作成する予定はありません。

自分のクラブの強みは？ 魅力は？ それをどう



やって伝える？

入会候補者向けパンフレットを作成する過程こそが、自らのクラブを見つめ直す良いきっかけになるはずです。パンフレットの作成それ自体が、非常に意味のあるロータリー活動であることに気づいて欲しいのです。

3 ソングリーダーはちゃんと歌おう！

私がガバナー公式訪問の際に気になったことの一つに、ロータリーソングを唱和するときのソングリーダーの立ち振る舞いがあります。ソングリーダーが真面目な顔で淡々と指揮棒を振るだけのクラブが多かったような気がします。

私は、この点に異論があります。あくまでソングリーダーであって、指揮者としてその場にいるわけではないのです。つまり、ソングリーダーなので、自分でもちゃんとロータリーソングを歌うべきだと思うのです。

ソングリーダー自らが歌いながら指揮棒を振っている姿を見ると、そのクラブのロータリーソング、そしてロータリーへの愛着の強さ、理解の深さを感じるのです。

新会員は、ソングリーダーの役が回ってきたことをきっかけにロータリーソングを覚えればいいのです。ロータリーソングは、いずれも短くて覚えやすいし、じっくりと歌詞を味わってみると、ロータリーソングばかりでなくロータリーへの理解も深まります。まさに、「ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう」なのです。

私は、そのような想いで、地区大会では「インター

アクトの歌」の、ローターアクト全国研修会では「ローターアクトの歌」のソングリーダーをつとめさせていただいたのです。

4 ローターアクト全国研修会が無事終了しました！

3月23日(土)から24日(日)まで、山形テルサとホテルメトロポリタン山形にて「第36回全国ローターアクト研修会 山形会議」が開催されました。毎年この全国大会が開催されますが、もちろん山形では初めての経験でした。

当初、ローターアクター及び及びロータリアンで合計400名の登録人数を目標にしていたのですが、実際には約310名のローターアクター、約160名のロータリアンにご参加いただきました。

鈴木一作PGの「ローターアクトの可能性」と題する基調講演、「国際交流」をテーマとしたパネルディスカッション、大類隼人氏による途上国支援をテーマとする基調講演、さらには水野RI理事エレクト、鈴木一作PG、遠藤地区青少年奉仕委員長、そして小生によるパネルディスカッションは、いずれもローターアクトクラブの今後の指針を考える上で多くのインスピレーションをもたらすものでした。

ローターアクトクラブは、今、変革の真っ只中にあります。その現状と課題、そして未来を、全国のロータリアン、ローターアクターと語り合うことができました。

この研修会の概要は、5頁以降で総括させていただきました(前頁上の写真は全体の集合写真で、上の写真は懇親会の様子)。



ガバナーが語るロータリーの基礎知識

— 規定審議会と標準ロータリークラブ定款 —

ガバナーとして各クラブを公式訪問でおじゃまして実感しました。本当に誤解している人が多いんです。自分の会社と同じように、クラブの定款は各クラブで自由に作成できると考えている人が。

昨年3月のPETS(会長エレクト研修会)や4月の地区研修・協議会で、あれほど私が「各クラブの会長・幹事さん、クラブ定款は2022年改訂版を掲載してくださいね」と強調し、きちんと文章でも書いていたにもかかわらず・・・

そこで、私は、クラブ公式訪問の際の会長幹事会では、そのことを毎回厳しく指摘させていただきました。単に、形式的にクラブ定款を最新のものに入れ替えるということだけでなく、そのことを通じて、規定審議会や標準ロータリークラブ定款の意味や位置付けをきちんと把握しておいていただきたいし、一回理解しておけば、何ら難しいことではなく、ロータリー全般の理解度もぐっと広がると考えているからです。それが、「ロータリーを語ろう そしてロータリーを楽しもう」なのです。

以下、昨年の地区研修・協議会のテキスト資料を再度掲載します。熟読してください。そして2024-2025年、芳賀年度の会長幹事さんは各クラブの事業計画書のクラブ定款は必ず2022年改訂版を掲載してくださいね。ちなみに、2025-2026年小松年度の事業計画書のクラブ定款は2025年改訂版になりますからね。

1 ロータリーの組織規定と規定審議会

「R1定款」、「R1細則」、そして「標準ロータリークラブ定款」を総称してロータリーの「組織規定」といいますが、これらロータリーの組織規定の改定を審議するのが規定審議会(Council on Legislation 通称COL)です。

規定審議会は、当初は国際大会での決議に先立つ諮問機関という位置付けでしたが、1970年よりR1の立法機関は規定審議会に一本化されました。

1974年より3年に一度開催されることになり、直近では2022年4月に開催されました。規定審議会代表委員は、各地区1名であり、世界中で地区数と同数の520名で審議されます。2022年4月は、アメリカシカゴでの対面参加とバーチャル参加のハイブリッド方式で開催されました(日本からは34地区のうち、9名が直接参加、25名がハイブリッド参加だったようです)。

ちなみに、今回審議された制定案の数は94件(日本の地区またはクラブからの制定案は26件)。審議の結果、採択されたのは29件(日本からの制定案のうち7件採択)で、採択率は約31パーセントだったようです。

2 規定審議会決議と『標準ロータリークラブ定款』

R1の全ての加盟クラブは、『標準ロータリークラブ定款』を採用しなければなりません(R1細則2.030)。そして、標準ロータリークラブ定款は、規定審議会によってのみ(但し、クラブの名称とクラブの所在地域については別)改正されますが、このような改正は、自動的に、各クラブの定款の一部となります(R1細則2.030.1)。

クラブの名称とクラブ所在地域以外の部分に関して、各クラブが変更する権限はありません。また、各クラブの年次計画書などに掲載している『標準ロータリークラブ定款』がいつのものであるかを問わず、最新(2022年版)の『標準ロータリークラブ定款』が効力を有していますが、各クラブにおかれては、最新(2022年版)のものを掲載してください(2025年版が出されるまで継続)。

3 「推奨ロータリークラブ細則」

R I は、『標準ロータリークラブ定款』を補足し、クラブの慣習を定めるものとして、「推奨ロータリークラブ細則」を推奨しております。

各クラブでは、ロータリークラブ細則を、R I 定款、R I 細則、標準ロータリークラブ定款に違反、矛盾しない限り、クラブの慣習を反映させて適宜変更を加えて作成することができます。

4 近年の規定審議会決議と『標準ロータリークラブ定款』への反映

(1) 2016年規定審議会決議

- ・クラブ運営の柔軟性に関して、会員種類(第8条第7節)、例会回数(第7条第1節(f))や出席要件(第10条第7節)などクラブの裁量による例外規定可能
- ・五大奉仕部門の職業奉仕の文言に「そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる」との部分(1987年のR I「職業奉仕に関する声明」の内容)が追加

(2) 2019年規定審議会決議

- ・職業分類制限廃止(第9条第1節)
- ・メイクアップ期間が「前後14日」から「同年度内」に(第10条第1節(d))変更

(3) 2022年規定審議会決議

- ・五大奉仕部門の社会奉仕の文言に「積極的平和」挿入(第6条3項)
- ・出席免除申請に対する無裁量承認(第10条第5節(b))
- ・会員がクラブの所在地域に住居または事業場を有する要件(第13条第2節(a))を削除する件



ガバナーは語る

手に手つないで

皆さんも、懇親会の最後の場面などで「手に手つないで」を唱和するはずですが。

通常は二番まで歌いますが、多くの方は同じ歌詞を繰り返しているのではないのでしょうか。実は、ロータリーソング「手に手つないで」の歌詞は一番と二番がありますが、一箇所だけ違っているのです(下記下線箇所)。

「手に手つないで」の歌詞は、以下のとおりです。

- 1 手に手つないで つくる友の輪 輪には輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪 ひろがれ まわれ 一つ心に
おゝロータリアン おゝロータリアン
- 2 手に手つないで つくる友の輪 輪には輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪 ひろがれ まわれ 世界と共に
おゝロータリアン おゝロータリアン

一回意識して覚えれば忘れないはずですが。

ちなみに、この歌を作詞作曲したのは、第一生命保険の創業者一族で、同社の社長や会長を務められた矢野一郎氏です。矢野氏は、東京RC会員で、生命保険協会会長やNHK経営委員会委員長も歴任した方ですが、多趣味で知られ、剣道の達人でもありました。多忙を極めていましたが、飛行機に乗っている間は趣味で作詞や作曲をしていたそうで、「手に手つないで」(1951年)ばかりでなく、我々におなじみの「それでこそロータリー」(1953年)、「ローターアクトの歌」(1969年)も矢野氏の作品です。

矢野氏は、1995年に96歳でお亡くなりになりました。ロータリアンそしてローターアクトの心の拠り所を築いてくださった方です。

「ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう」

「第36回全国ローターアクト研修会 山形会議」

報告

実行委員長 三浦 友介 (鶴岡RAC)

研修会概要

開催日：令和6年3月23日(土)・24日(日)
研修会会場：山形テルサ
懇親会会場：ホテルメトロポリタン山形
参加人数：472名(RA:313名,RC:159名)

研修会目的

- 1)ローターアクト地区間のより良い信頼関係を推進するための機会
- 2)ローターアクト活動の建設的な意見交換、情報交換のための機会
- 3)ローターアクト会員の親睦と友好のための機会
- 4)参加者の指導力養成
- 5)ローターアクトの活動を広く紹介するための機会

研修会テーマ

「機会創造」

多くの出会いと学びから新しい機会を創り出す

3月23日(土)

・ローターアクトソング唱和



ソングリーダーは伊藤三之ガバナー。ガバナーの熱き想いが伝わり、ここから今までの研修会とは違う。

・板垣沙織地区RA代表挨拶



研修会の始まりに相応しい和やかな挨拶でした。板垣代表の終始にこやかな笑顔に何度も救われました。

・三浦友介実行委員長挨拶



壇上からの景色は壮観でした。頑張ってきて良かったと思った瞬間でした。

・伊藤三之ガバナー挨拶



ローターアクトの歴史と意義を深く掘り下げた挨拶。ローターアクターの行動力、友情への称賛もいただき感謝です。

・佐藤孝弘山形市長ご祝辞



ご多忙の中のご祝辞ありがとうございます。この大会を通して山形を好きになった方も大勢いました。

・水野功国際ロータリー理事エレクトご祝辞



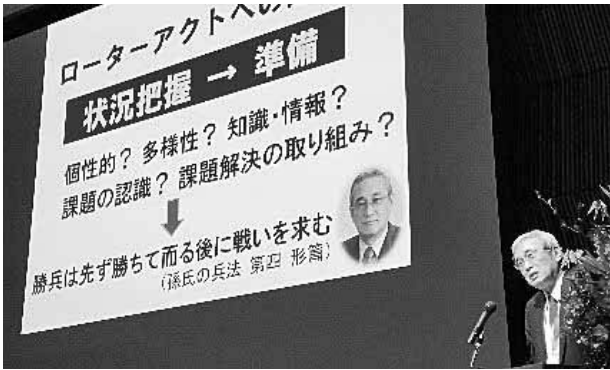
水野RI理事エレクトからもRACへの期待のお言葉を頂戴しました。ローターアクトクラブ定款の重要性も教えていただきました。

・第35回全国RA研修会開催報告



前回開催(金沢)の記憶がよみがえりました。金沢からしっかりバトンを受け取り、いよいよ始まりました。

・鈴木一作パストガバナー基調講演



「ローターアクトの可能性」について事前アンケートをもとにした講演。厳しい言葉もありましたが、今後のためになったとの多数の感想をもらいました。熱意のあまり時間を大幅にオーバーしてしまったようです。

・パネルディスカッション



RACの「国際交流」をテーマにしたパネルディスカッション。国際交流経験者のローターアクター4名+グローバル補助金申請のRACから1名が登壇しました。

・第2790地区(千葉) 地区RA代表 稲垣来夢さん



韓国そして台湾との3ヶ国交流会への参加についての発表がありました。

・第2620地区(静岡・山梨) 地区RA幹事 山田幸弘さん



アジア圏の各国との交流、つながり、全国研修会の参加について発表がありました。

・第2680地区(兵庫) パスト地区RA代表 阪本渚子さん



ロータリー国際大会への参加、アジアルートプロジェクトについて発表がありました。

・第2660地区(大阪北部) 大阪東RAC会長 西岡遥さん



世界初! RACでグローバル補助金が承認されたモンゴル図書館プロジェクトについて発表がありました。

・集合写真



総勢472名のご登録ご参加ありがとうございます!

・グループディスカッション



「ローターアクトの魅力発掘」

- ① 入会のきっかけ、続けている理由
- ② 地区、クラブの特色・自慢
- ③ 地域社会との関わり
- ④ 友好地区・地区内外クラブとの親睦
- ⑤ ロータリーとの関わり

・ロータリープログラム



「RACの現状と課題、支援を考える」パネルディスカッション

- ・水野功R I 理事エレクト
- ・伊藤三之ガバナー
- ・鈴木一作パストガバナー
- ・遠藤伸一地区青少年奉仕委員長

・大懇親会の乾杯



地酒2樽での鏡開きの後に乾杯。地区から参加者全員への枡のプレゼントありがとうございました！

・サプライズ



同期代表、第35回、第37回全国研修会実行委員長からのありがたい激励をいただきました。

・友好地区PR



各地区の熱意がすごい！伊藤ガバナー始めロータリアンは終始圧倒されておりました。

・山形大学サークル四面楚歌による「花笠音頭」



圧巻の花笠音頭。最後は地区ロータリアンとローターアクトで手作りした花笠で、みんな一緒に踊りました！

・W-MEN「山形格付け」



昨年度結成されたモテたい男たち「W-MEN」。今年も盛り上げてもらいました。でも、本当にモテるのかな？

・中締め



大変な盛り上がりの中、来年の第37回全国RA研修会ホスト地区(大阪北部)ガバナーエレクトの大橋秀典様による中締めのご挨拶。まだまだ会場の熱気は残っていました。

3月24日(日)

・全国ローターアクト代表者会議



第37回、38回、39回全国RA研修会の審議、報告、地区分担金に関する協議、ローターアクトの自立に関する協議がなされました。続きは臨時代表者会議にて行うことに決定。RIJYEM津留様からもご挨拶を頂戴しました。

・大類準人様基調講演



「14年目の途上国支援 ～ゼロからイチを創出する意義～」機会創造の研修会テーマに相応しいご講演でした。

・グループディスカッション報告



グループディスカッションの各会場のリーダーにより、各グループごとの詳細なご報告をいただきました。

・代表者会議報告



1時間の制約の中での代表者会議。鈴木議長、板垣地区RA代表お疲れ様でした。

・3ヶ国交流会告知



第2750地区(東京南部・パシフィックベイスン)劉韋岑直前地区RA代表から告知いただきました。

・地区RA代表エレクト紹介



各地区の次年度代表者から、次年度の地区方針や抱負をご披露いただきました。皆さん、元気です！

・第37回全国RA研修会告知



今回は大都市大阪！今回の御礼も兼ねて大勢でお邪魔いたします！大阪、頑張れ！

・全国研修会旗引き継ぎ



しっかりと全国研修会旗を引き継ぎました。私たちの大会運営の経験を踏まえ、積極的に大阪地区のお手伝いをさせていただきます。

・能登半島地震義援金報告



受付で義援金を募り205,354円集まりました。集まった義援金は第2610地区(富山・石川)RAへお渡しいたしました。

・お見送り



ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。RA活動を充実させ、来年は大阪でお会いしましょう！



全力で頑張っていた地区内ローターアクターそしてロータリアンの皆様、本当にありがとうございました！

「第36回全国ローターアクト研修会 山形会議」を終えて

地区委員会 青少年奉仕委員会 委員長 遠藤 伸一（寒河江RC）

この大会を経験し、地区内多くのローターアクター、関わったロータリアンが感じたものは一人一人違えども、達成感、充実感、感動は皆様共有できたと思います。

伊藤ガバナーがノミニーの時から3年弱、ロータリアンもローターアクターも試行錯誤を繰り返し、実行委員会を立ち上げ、昨年12月初からLINEグループも立ち上げ、連日何十件ものメールでのやり取り、深夜まで鳴り止まぬLINE。

ガバナーを先頭に、これまでの全国研修会と同じことをするのではなく、「山形らしい大会にしよう」を合い言葉に、これまで1500万円を超える予算で開催されていた過去の大会を半分以上の予算で開催するまでに、何度も何度も、見直し、議論を重ね、無駄を省き実現することができました。結果、700万円で開催できた一方で、前回の金沢大会を超える470名もの参加者を数えました。

内容も、現在のローターアクトの立ち位置を認識したうえで、自立には程遠いことを自覚しながら、それを踏まえ、今後どのような工夫が必要か、また、ロータリークラブはどのようなサポートが必要かを議論をする場とすることができ、大会の意義があったと感じます。

参加されたローターアクター、ロータリアンからは、「とても勉強になった、素晴らしい大会だった」との声を多数頂きました。

冒頭、伊藤ガバナーがローターアクトの歌を自ら指揮をとりました。会場は大いに盛り上がりました。伊藤ガバナーが、「指揮をする人は、歌を覚え、口ずさみながら指揮をしないと想いは伝わらない」とローターアクトの歌を事前にマスターし臨んだ心意気が会場内に伝わり、会場内のローターアクターに刺激を与え、感動を呼びました。

伊藤ガバナー、佐藤山形市長、水野RI理事エレクトの挨拶で始まり、鈴木一作PGの講演からは怒涛の研修モードに。例年、サブプログラムと称し、ローターアクターがご当地を観光するこれまでの前年踏襲を止め、参加者全員で研修することに徹し、さらに、これまでのお土産もやめ、少ない予算で、2倍、3倍の価値ある大会にしようというのが実行委員会のねらいでしたが、参加された方からも十分理解していただいたようでした。

他方、この大会では、ローターアクトがいかにローターアクトクラブ定款を理解して活動していないか、それ以上に、ロータリアンのローターアクトへの無関心が浮き彫りになったのではなかったでしょうか。特に当地区のロータリアンのローターアクトへのサポートの無さ、無関心はどの地区よりも改善すべきことではないでしょうか。

もちろん、良いこともいっぱい再確認できました。ローターアクター一人ひとりの成長は、関わった方なら感動すら覚えたのではないのでしょうか。もし、それを地区内全てのロータリアンに伝えられたら、自分の会社の社員や地域の若者をローターアクトに参加させたいと感じてもらえたのではないのでしょうか。



ガバナーは語る

心に残ったフレーズ

全国ローターアクト研修会の2日目の大類隼人氏(沖縄首里RC 医師)の途上国支援の経験に基づいたご講演から、心に残ったフレーズを。

「アフリカを始めとした途上国では、日本では救えるはずの命が目の前で消えていく。この現実を知ったとき、私たちは問われる。無視するか、行動するかを」

私は、地区基本方針に書いた文章を思い出していた。近代経済学の父アダム・スミスの言葉「経済人として生きるのに必要なのは、聞く耳、涙する目、そして差しのべる手である」と。

世のため人のために、自分に何ができるのか。「奉仕の理念」の核心です。

地区研修・協議会報告

地区研修・協議会 実行委員長 大道寺 信 (長井RC)

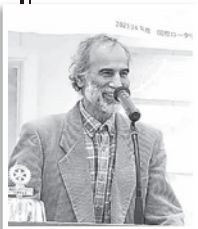
今年度の地区研修・協議会は、4月13日(土)に長井市で行われました。例年の参加人数が収容可能な会場ということから、タスパークホテル長井での開催となりました。

今回の地区研修・協議会は、芳賀エレクトから2024-2025年度の地区理念、基本方針、そして力強い決意が示され、それを基に分科会等での話し合いがなされました。

さらには、国際協議会の研修リーダーも歴任された国際ロータリー第2520地区バスターガバナーの菅原裕典氏(仙台泉RC)より、「3-Year Targets アクションプラン推進の概要と目的」をテーマにした基調講演をして頂きました。今後のロータリーの進め方として、ガバナー、エレクト、ノミネーの3者(3年間)が協議して具体的な方針や具体的な活動を決定して進めていく方向になる旨のお話を頂くなど、貴重な内容でありました。感謝申し上げます。

分科会では活発な議論が行われ、全体会でもそれぞれの結果を報告する中で、次年度に向けての意思統一ができたものと思います。

桜満開の中での開催となり、晴天にも恵まれ、花見とはいかないまでも、少しは鑑賞できたでしょうか。また今回の設営にあたり、長井RCそして長井中央RCの皆さんにもご協力を頂きました。至らぬ点が多々あったものと思いますが、11月の地区大会も長井市民文化会館も含め同場所での開催を予定していますので、反省点を活かしていきたいと思っております。皆様のご協力に感謝しご報告と致します。



第1グループ | M報告「トルコ人ジハーンさん大いに語る」

第1グループガバナー補佐 高橋 弘哉 (酒田RC)

第1グループ(酒田RC・酒田東RC・酒田中央RC・酒田スワンRC・酒田湊RC)のIM(インターシティミーティング)は、前日に最終公式訪問(山形北RC)を終えた伊藤ガバナーの慰労を兼ね、3月29日(金)夕方からベルナル酒田で開催しました。

冒頭、伊藤ガバナーから、IMの意義と歴史を踏まえたご挨拶をいただきました。

ロータリーらしさをどのように出すか、それには講師を誰にするのか、大いに悩み、酒田在住39年のトルコ人、イブラヒム・ジハーンさんにご講演をお願いしました。いまだに戦禍が絶えない中東の歴史と現状、世界組織であるロータリーが今何をしなければならないか、流暢な日本語にユーモアを交え大いに語って頂きました。

日本がいかに平和であるか、それなのにお互いを卑下し自信を持ってない日本に、「日本は素晴らしい国だから、自信を持ってもっともっと世界に貢献してほしい」と逆に励まされました。世界に繋がるロータリーの役割も実感しました。

引き続いての懇親会では、完全ベジタリアンであるジハーンさんの為に、別メニューを作って頂いたベルナル酒田に感謝、ジハーンさんも大喜びでした。

懇親会の終わりに、「手に手つないで」を約80名で唱和し、グループの親睦を深め、重要事業であるIMを終えました。

第1グループ次期ガバナー補佐の工藤亜紀子さん(酒田東RC)には、女性ながら強いリーダーシップを持ち個性あふれる活動をなされることを期待しています。

まだ年度途中ではありますが、伊藤ガバナーの指導力、各会長幹事のご協力に感謝し、IM報告と致します。ありがとうございました。



第4回インターアクト連絡協議会報告

地区委員会 青少年奉仕委員会 委員 向田 宏男（白鷹RC）

学校教育の基盤は、「生徒に寄り添い、心を育てる」ことにある。他方、ロータリービジョン声明文は、ロータリーは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指すとしてあり、学校教育の基盤との共通性を見出すことができる。

インターアクト連絡協議会も本年度第4回目となったが、冒頭、伊藤ガバナーは、各学校のインターアクト活動視察を踏まえて、それぞれの高校で特徴あるインターアクト活動が行われ、感動する場面が多くあったことを具体的エピソードを交えて挨拶された。続いて青少年奉仕アドバイザーの矢口PG、遠藤青少年奉仕委員会委員長の挨拶があり、その後、各高校の顧問から近況報告があった。鶴岡東高校林先生、羽黒高校櫻田先生、創学館高校桃園先生、惺山高校松田先生、新庄東高校星川先生より、各校のインターアクト活動状況が述べられた。

引き続き、枝松インターアクト委員会委員長の進行により、第31回インターアクト年次大会実施要綱(案)について協議された。創学館高校の桃園先生から提案説明があり、「自分の魅力を知り、他者を愛する心を養う」というテーマで、令和6年6月7日(金)に山形国際交流プラザビッグウイングを会場に、県内各校インターアクト生徒、顧問教師、ロータリアンの参加を募り、開催することになった。講演については、講師は矢口祥子氏(山形市出身～BIJUKU認定講師)で、『あなた「らしさ」が美しい～魅力を知って自己肯定観を高める』というテーマでの講演、その後にその講演を踏まえて、『魅力マトリックスで自分の魅力を知ろう』というテーマでワークショップを行うとのことであった。予算面では、桃園先生より伊藤ガバナーへ地区から15万円を補助して頂きたいとの要請があった。

協議の結果、開会式の中での「閉式の言葉」と「閉式の点鐘」はカットされ、開会式の時間も1時間から40分に短縮、その代わり、各校のインターアクト活動報告が40分ではなく1時間に延長された。

活発な議論がなされ、6月のインターアクト年次大会はきっと成功するに違いないと確信したところです。



米山奨学生オリエンテーション・カウンセラー説明会報告

地区委員会 米山奨学・米山学友委員会 委員(次期委員長) 西川 富美子(鶴岡RC)

2024年4月6日(土)、2024年度の米山奨学生及びカウンセラーの皆様、今年度米山奨学・米山学友委員会委員及び次期米山奨学・米山学友委員会委員にご参加頂きホテルメトロポリタン山形で米山奨学生オリエンテーション及びカウンセラー説明会が行われました。

新しい仲間となりました奨学生は7名、昨年からの継続学生5名と合わせまして2024学年度は12名となります。

当日は、芳賀康雄ガバナーエレクトより台湾へのお見舞いの言葉が述べられ、米山事業の目的の説明と共に奨学生にエールを送り、カウンセラーにはお礼と今後のお願いのご挨拶でオリエンテーションが始まりました。

引き続き米山奨学会評議員の齋藤榮助パストガバナーと次期米山奨学・学友アドバイザーの矢口信哉パストガバナーから奨学生との交流経験からのアドバイスと激励、米山奨学会理事の大久保章宏パストガバナーからは日本での行動についてのアドバイス等ご挨拶頂きました。

また、当日他地区の地区大会のために欠席の伊藤三之ガバナーから米山奨学会の歴史、米山奨学会の意義などのメッセージが届き読み上げられました。

事前にメールしておりました、奨学生とカウンセラー向けのオリエンテーション資料を基にパワーポイントを使って米山奨学会について、奨学生の心得、各手続、当地区の危機管理、奨学会事業、カウンセラーの役割などの説明を行いました。

説明後、確約書・個人情報開示に関する同意書に署名、その後奨学生に芳賀ガバナーエレクトよりバッチが贈呈され、米山奨学生とカウンセラーからスピーチして頂きました。最後は山形米山学友会につて、高吉嬉山形米山学友会会長より説明があり学友会への入会をお願い致しました。

オリエンテーションは2時間ほどで終了し、米山奨学生とカウンセラーの交流と共に2024学年度がスタート致しました。



2024年度 米山奨学生の紹介

継続奨学生



ゲン チャウ ベト

国籍 : ベトナム
世話クラブ : 米沢
サブ世話クラブ : 最上・南陽東
カウンセラー : 我妻 弘一
大学名 : 山形大学
課程 : 修士
学年 : 2年



ムハマド カイルル
ビン アヌア

国籍 : マレーシア
世話クラブ : 米沢中央
サブ世話クラブ :
カウンセラー : 羽生 吉弘
大学名 : 山形大学
課程 : 修士
学年 : 2年



朱 浩成
(ジュ ホソン)

国籍 : 韓国
世話クラブ : 米沢おしよしな
サブ世話クラブ : 山形西
カウンセラー : 小野 勝男
大学名 : 山形大学
課程 : 学部
学年 : 4年



鐘 益
(ショウ エキ)

国籍 : 中国
世話クラブ : 山形南
サブ世話クラブ :
カウンセラー : 熊谷 昌和
大学名 : 山形大学
課程 : 学部
学年 : 4年



任 美毓
(ニン ビイク)

国籍 : 中国
世話クラブ : 酒田湊
サブ世話クラブ : 酒田
カウンセラー : 庄司 豊
大学名 : 東北公益文科大学
課程 : 学部
学年 : 4年

新規奨学生



楊 思祺
(ヨウ シキ)

国籍 : 中国
世話クラブ : 鶴岡東
サブ世話クラブ : 鶴岡西
カウンセラー : 田村 勝
大学名 : 山形大学
課程 : 修士
学年 : 2年



連 宇
(レン ユ)

国籍 : 中国
世話クラブ : 鶴岡南
サブ世話クラブ : 鶴岡
カウンセラー : 伊東 真由美
大学名 : 山形大学
課程 : 博士
学年 : 2年



韓 頌華
(カン エイカ)

国籍 : 中国
世話クラブ : 大江
サブ世話クラブ :
カウンセラー : 伊藤 篤市
大学名 : 山形大学
課程 : 修士
学年 : 2年



劉 馨瑩
(リュウ ケイエイ)

国籍 : 中国
世話クラブ : 寒河江
サブ世話クラブ : 東根
カウンセラー : 遠藤 伸一
大学名 : 山形大学
課程 : 修士
学年 : 2年



ダグワ,
シン ウンダルガ

国籍 : モンゴル
世話クラブ : 南陽臨雲
サブ世話クラブ : 米沢
カウンセラー : 嵐田 郁夫
大学名 : 山形大学
課程 : 博士
学年 : 3年



姜 ムルソル
(カン ムルソル)

国籍 : 韓国
世話クラブ : 山形南
サブ世話クラブ :
カウンセラー : 浅野 裕幸
大学名 : 東北芸術工科大学
課程 : 学部
学年 : 3年



徐 圭談
(ソングダム)

国籍 : 韓国
世話クラブ : 山形北
サブ世話クラブ :
カウンセラー : 鳥 国治
大学名 : 東北芸術工科大学
課程 : 学部
学年 : 3年

2024年度の米山奨学生12名

(継続奨学生5名・新規奨学生7名)です。

両国の架け橋になれることを期待します！

ガバナーは語る

「世話クラブ」と 「サブ世話クラブ」について

そして、本年度は、全ての米山奨学生に対して、本来の「世話クラブ」に加えて、「サブ世話クラブ」制度を導入し、大学から遠方であって米山奨学生が居住していない地域のクラブや世話クラブの経験の少ないクラブにも、米山奨学生を年間2回ほど訪問させ、米山奨学生との交流の機会を作ること、米山奨学制度の理解促進に努めていきたいと考えました。

現に、2023年度米山奨学生については全ての方に「サブ世話クラブ」が付き、米山奨学生と各クラブの方々との交流を密に図り、親睦を重ねることで、より多くのロータリアンに米山奨学制度の意義を実感していただきました。米山奨学生からも、大好評でした。

2024年度米山奨学生についても、是非、「サブ世話クラブ」での支援をお願いします(上の「サブ世話クラブ」欄が全部埋まるように)。

青少年交換学生マンスリーレポート



2024.3.24 報告

深瀬 裕正さん
(東桜学館高等学校)

派遣地区：D 4 1 4 0

派遣国：メキシコ

スポンサーRC：東根RC



こんにちは、ヒロマサです。皆さんいかがお過ごしでしょうか。メキシコにきて9か月がたちました。あと、3か月しか残っていないと思うと、日本に帰る楽しみと同時にメキシコを離れるという寂しさを感じています。

日本人としてメキシコに住んでみると感じることはありません。それは、水問題です。日本にいたころは、お風呂やトイレの水が止まることなど数年に1度あるかどうかの頻度ですが、メキシコでは、数か月に1度の頻度でお風呂やトイレの水が止まってしまいます。もう慣れましたが、最初の頃はとても驚きました。また、今の時期は雨などめったに降らないので、市が水を止めました。

今月は、とても大きな旅行があり、2週間カンクンというところに行ってきました。カンクンというところは、メキシコだけでなく世界的に有名なリゾート地です。とても暑かったですが、一生の思い出をつくれました。他の地区の留学生とは、最後の旅行だったのでみんなと会えないのはとても寂しく感じます。つい最近まで日本からメキシコに来たばかりのように感じますが、すでに9か月たっていて本当に留学生活は早く過ぎると感じています。

僕のホストファミリーは、コロニーのような、塀で囲われた住宅街のような場所に住んでいます。メキシ

コでは、ほとんどの人は同じような場所に住んでいます。また、セキュリティーの面でも、それぞれの住宅街にはエントランスのようなものがあり、顔認証や指紋認証を使って本人確認をします。家だけでなく学校に入る時にも、学生証を毎回見せなければいけません。また、友達と遊びに行くときや、学校に行くときなどは必ず車で行きます。日本のように公共交通機関が発達していないというのがありますが、何よりも、バスの中であったりタクシーの中は本当に危険だと言われ、いまだに利用したことはありません。今、メキシコは世界的に見ても1番危険な国だと言われていますが、人々は本当にステキで優しい人たちばかりです。私たちは、日々固定概念やイメージにとらわれがちな生活をしており、特に日本ではとてもたくさんいると思いますし、僕もそうでした。ですが、とらわれ過ぎないように生活することがとても大事だと感じています。

残りの期間、心残りがないように楽しみたいと思います。



2024.3.26 報告

菅原 倭夏さん
(羽黒高等学校)

派遣地区：D 3 4 9 0

派遣国：台湾

スポンサーRC：鶴岡RC



みなさんこんにちは。台湾は寒さが和らぎ暖かかく過ごしやすい日が増えてきました。

3月から私たち留学生は学校で新しい時間割を与えられました。そこでは新たに書道の授業や料理の授業が加えられました。

料理の授業は他クラスと合同で行います。なので初

めて会う他クラスの生徒とたくさんコミュニケーションをとることができたり、作った料理を一緒に食べたりすることができるので本当に楽しく授業に参加できています。

そして書道の時間では、書道の基礎を習います。「とめ・はね・はらい」などの様々な基礎を細かく習います。私は小学生時代、書道を習っていたので習っていた当初の頃を思い出して少し懐かしく思いました。このように新しく時間割を与えられたことによって、以前までのクラスメイトと同じ授業内容で授業についていくのが大変だったのが今では楽しく授業に参加することができるようになりました。

3月23日には3490地区のロータリークラブ主催で成人式がありました。そこでは私たち留学生はダンスを披露しました。台湾では原住民という独自の文化・言語・伝統がある台湾に最初に住んでいた先住民がいます。私の学校には原住民のダンスの部活があり、この部活の生徒たちと、私たちの学校の留学生4人は原住民のダンスも披露しました。1月の冬休みから3月まで昼休みを使って練習してきたので、自信を持って堂々と披露することができました。1つ1つのフリにも意味が込められていることを教わりながら練習していたのでとても興味深く勉強になりました。台湾の原住民のダンスを踊れる人は山形県、いや、日本にどれくらいいるのでしょうか！？きっととても少ないはずです。普通の台湾留学ではきっと学ぶことはできないと思います。これもロータリー留学だからこそ得ることのできた経験だと思っています。

私の中国語のレベルですが、留学生同士の会話でも英語より先に中国語が出てきたり、ホストファミリーやロータリークラブの人々そして現地の友達との会話も完全にリラックスして話すことができるようになりました。

帰国まで残り約3ヶ月となりました。残りの時間を大切に過ごしていきたいです。

 2024.3.28 報告

國井 梓さん
(日大山形高等学校)

派遣地区：D5020

派遣国：アメリカ合衆国・カナダ

スポンサーRC：寒河江RC



3月に入り、日本では卒業のシーズンを迎えていることだと思います。アメリカの卒業式は6月なので先に卒業をしている友達の写真を見ると少し切ない気持ちになります。

3月は特に大きなイベントはありませんでしたが、私は春の部活動でソフトボールを始めたので忙しい毎日が続いています。

秋にサッカーをしていた時は、知っている友達やホストファミリーが夕食まで用意してくれていたのですが、苦労を感じずに過ごしていましたが、私の今のホストファミリーは全員ベジタリアンで夕ご飯は自分で作らないといけないため、ソフトボールの練習後に自分で夕ご飯を作るのは体力的にも精神的にも疲れます。また知っている人がいなかったため、1から会話を始めコミュニケーションをとらなければいけませんでした。しかし私はソフトボールを中学時代にプレーしていたため、練習はスムーズに行うことができ、チームメイトやコーチも優しい方で私をイチローと呼んでいます。アメリカの部活動は休日に練習や試合がないので、休日にゆっくり休むことができますが、その代わりに平日に試合があり、夜遅くに帰って次の日も学校があると思うととても大変です。私はレフトとセカンドとピッチャーでプレーをしています。ピッチャーは中学時代にとてもよかったポジションでしたが、監督は私をピッチャーに選ばせませんでした。しかし、アメリカの監督は私にピッチャーをさせてくれたので嬉しかったです！

ホストファミリーとカナダのビクトリアに行きました。チャイナタウンがあると聞いたので、アジアフードを食べれるかと期待していましたが、日本のような沢山の店はなく、ただ外観だけが中国風に飾られていただけでした。夕ご飯は日本料理屋で食べましたが、味は良くはありませんでした。しかし店員さんが日本人だったので楽しく会話ができました。

ロータリーのカウンセラーとはシアトルシンフォニーと一緒に見に行きました。私はオーケストラに興味はありませんでしたが、ドレスアップをしてシアトルに行けることが嬉しかったです。ジブリの曲が演奏されることを期待していましたが、知らない曲ばかりで少し退屈でした。

4月にはホストファミリーがまた変わります。それが私の最後のホストファミリーになります。今のホストファミリーは自分にとって少しハードな暮らしでしたが、成長を感じられる時間になりました。ホストファミリーが変わるたびにとても悲しい気持ちになりますが、この留学で出会えたことに感謝をして、思い出を大切にしていきたいです。

〈ガバナー公式訪問〉

東根中央ロータリークラブ

会長/武田 正之 幹事/阿部 勉 例会場/東根温泉たびやかた嵐の湯

2023年9月25日(月)



9月25日(月)、東根温泉たびやかた嵐の湯にて、伊藤三之ガバナー、伊藤明彦地区資金委員長、須藤雅人地区統括副幹事をお迎えし、東根中央ロータリークラブ



のガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会に先立ち開催された会長幹事会では、武田会長より基本方針と活動計画の説明を行いました。また当クラブの長期ビジョン策定特別委員会の活動の報告もさせていただき、伊藤ガバナーより大変良い評価をいただきました。その他2022年に改正された標準ロータリークラブ定款のお話、公式LINEの活用、継続事業の重要性、例会出席率向上等の意見交換が行われ1時間余りの短い時間ではありましたが大変有意義な会長幹事会となりました。

例会の卓話では、ゴードン・マッキナリーRI会長の年度テーマの説明、地区基本方針、10月1日開催のロータリー奉仕デー「それぞれの最上川物語」の概要、開催する意図をお話いただきました。

また「奉仕の理念の真意」、「ロータリーの目的とは」、「四つのテストの位置付け」のお話は大変興味深い内容で、参加したクラブメンバーは周囲には一切見向きもせず熱心に聞き入っていました。

全てのお話を聞き終え、地区基本方針「ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう」が更に力強く感じる事ができました。大変貴重なお話をいただきありがとうございます。

心から御礼と感謝を申し上げますとともにますますのご活躍とご隆盛をご祈念申し上げます。

この報告書は昨年11月号に掲載すべきところ、月信編集委員会の手違いにより遅れてしまいました。東根中央RCの皆様及び関係各位に深くお詫び申し上げます。

〈ガバナー公式訪問〉

小国ロータリークラブ

会長/渡邊 重信 幹事/阿部 秀勝 例会場/ステンドグラス工房 白い森

2024年3月27日(水)



3月27日(水)、小国ロータリークラブ例会場に、RI第2800地区伊藤三之ガバナー、浅黄敬之地区統括副幹事、須貝翔太月信編集委員、第6グループ佐藤靖彦ガバナー補佐をお招きし、小国ロータリークラブ



のガバナー公式訪問、会長幹事会が開催されました。

まずは、会長幹事会にて当クラブの活動計画書に基づいて種々のご指摘を受けました。当クラブの定款について、2022年規定審議会改正版に変更が必要なこと、さらには、ロータリーの基本的な規約についてのご指導がありました。クラブ運営やロータリー活動についても、その意味を正しく理解して、その目的にそって活動しなければと再認識いたしました。日々変わる世界情勢や時代背景を踏まえながら、今後の新会員の受け入れ方も考えていかなければ、持続可能なクラブ運営・活動が困難になることにも気付かされました。

公式訪問例会では、「奉仕の理念」、「超我の奉仕」そして「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というロータリーの二つのモットー、さらには「四つのテスト」や「ロータリーの目的」についての分かりやすいご説明をいただきました。

また、伊藤三之ガバナー年度の地区基本方針である「ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう」についても、その真意について分かりやすくご説明いただきました。

ガバナーがおっしゃるとおり、地区から毎月発行されますガバナー月信には、私たちのような小さなクラブでも充実したロータリー活動が出来るヒントやメッセージがたくさん書かれています。

私たち小国ロータリークラブは12名の会員数の小さなクラブですが、今回の学びをもとに、会員一人ひとりが、自分の人生を豊かにするために、「二度とない人生だから、人生を実りあるものにするために、志を高く持って、世の中のために役立つ」ロータリー活動を行っていきたいと思います。

〈 ガバナー公式訪問 〉

山形北ロータリークラブ

会長/小関 眞一 幹事/伊藤 誠 例会場/山形グランドホテル

2024年3月28日(木)



3月28日(木)、山形北ロータリークラブ56回目の創立記念日に、伊藤三之ガバナーをお迎えしガバナー公式訪問が開催されました。

先だつての会長幹事会では、クラブ年次計画書の内容を確認いただき、標準ロータリークラブ定款の位置づけについてご指導いただいた他、各委員会の活動状況の確認やクラブ数値目標の達成に向けた具体的アドバイスなどをいただきました。特に出席率の向上については、会員が参加したくなる仕組みを考えクラブの活性化を図る必要性についてご指導いただきました。

続いての公式訪問例会では、当クラブが最後の訪問先ということもあり、全訪問を終えての感想や気付いたことなどについてお話いただきました。まずはいろんなロータリーソングの作詞作曲者の紹介や歌詞に込められている想いなどに触れながら、「ロータリーソングに敬意を表し、その歌からロータリーを学ぼうとしているかが大切である」と指摘。具体的な最初の一歩として、例会などでのロータリーソングの指揮担当者は、自分でもちゃんと歌いながら指揮することが必要だと、会員全員がそのことを意識しているか否かで、そのクラブのレベルが分かるとの厳しい指摘も。また、会員を増やすためには、ロータリーの魅力、自分のクラブのロータリー活動の意義、強みをじっくり検証してみることで、そしてそのことを世の中に伝えていく中で会員拡大を考える必要がある、そのためにも、そのクラブ独自の会員拡大用パンフレットの作成をしてみることも自分たちのクラブの足元を見つめ直すことにつながり有益だとのことでした。

最後に、ロータリーの目的は「自分の人生を豊かにすることである」と、私たちにもわかり易く説明いただき、ガバナーのロータリーへの熱い想いや私たちに対する温かな想いが参加者全員の心に響くお話をたくさんいただきました。

その後のガバナーをお迎えしての創立記念懇親会では、これまでの歴史を振り返るムービーや入会歴の長い先輩からの思い出話などを聞きながら酒を酌み交わし、大いに盛り上がることができました。クライマックスでは、ガバナー公式訪問を全て終えられたことへの慰労と感謝の意を込め、今年度地区大会のダイジェストムービーを上映し参加者全員である時の思い出にひとり楽しみました。

そして、最後には東京RC会員であった矢野一郎さんの作詞作曲にかかる「手に手つないで」を、ガバナーから指摘された1番と2番の歌詞の違いを確認し合いながら、またロータリーに感謝しながら歌って友情を深め合いました。

伊藤三之ガバナー、クラブへ新たな風を吹き入れていただき感謝いたします。

小国町長 表敬訪問

第6グループ
ガバナー補佐 佐藤 靖彦

3月27日(水)小国RCのガバナー公式訪問に引き続き、伊藤ガバナー、浅黄地区統括副幹事、須貝月信編集委員、小国RC渡邊会長、阿部幹事と小生の6名で、午後1時30分から小国町役場に「小国町長表敬訪問」に伺いました。

昨年7月13日、白鷹ロータリークラブの公式訪問、白鷹町長表敬訪問からスタートした伊藤ガバナー年度の表敬訪問も、小生がガバナー補佐として同行する締めくくりの訪問になりました。

3月9日に開通したばかりの梨郷道路を通りガバナー地区同行者が小国へ来る際に予定の時間よりもだいぶ早く到着した話から、新潟山形南部連絡道路の進捗状況など町長より説明があり20分程歓談した次第です。

少子化高齢化が加速度を増して進んで行く中で、「命をつなぐ」大切な道路整備については、小国町にある沢山の宝物を広く発信していくためにも、今後も前向きに取り組んでいかなければならないとの思いをあらたにしたところです。

さて、これから担当クラブの最終メークやIMなど、ガバナー補佐としての伊藤年度のミッションはまだ残っておりますが、まずは公式訪問、表敬訪問が終了したことで少しほっとしております。

今日は時間が無く案内できなかった小国町の「宝物の場所」は、伊藤ガバナーが「直前ガバナー」、「バストガバナー」に改名された際にあらためて一年間の御礼とともにご案内したいと考えているところです。



新 会 員 紹 介

酒田東 R C



船山 義之
(ふなやま よしゆき)

職 業/ 東北電力ネットワーク(株)
酒田電力センター
役 職/ 所長
職業分類/ 送配電事業
生年月日/ 1972年7月29日
入 会 日/ 2024年4月1日

酒田東 R C



田中 隆一
(たなか りゅういち)

職 業/ 荘内証券㈱
役 職/ 代表取締役社長
職業分類/ 金融商品取引業
・保険業
生年月日/ 1956年6月1日
入 会 日/ 2024年4月1日

山形西 R C



高橋 勝彦
(たかはし かつひこ)

職 業/ ㈱タカハシ電工
役 職/ 代表取締役社長
職業分類/ 電気工事
生年月日/ 1973年2月24日
入 会 日/ 2024年3月4日

米沢 R C



牧野 司
(まきの つかさ)

職 業/ 東北電力ネットワーク(株)
米沢電力センター
役 職/ 所長
職業分類/ 電力事業
生年月日/ 1968年9月17日
入 会 日/ 2024年4月4日

米沢 R C



松田 直樹
(まつだ なおき)

職 業/ (株)山形新聞社
役 職/ 置賜総支社長 兼
米沢支社長
職業分類/ 新聞放送事業
生年月日/ 1964年12月3日
入 会 日/ 2024年4月11日

米沢 R C



河合 紀明
(かわい のりあき)

職 業/ 東京海上日動火災保険㈱
役 職/ 米沢支社長
職業分類/ 総合保険業
生年月日/ 1983年9月8日
入 会 日/ 2024年4月11日

新会員をみんなで歓迎
しましょう！
新会員情報を地区事務局に
お寄せください！



米 山 寄 付 表 彰

第1回 米山特別労法人

(株)大久保硝子店

法人責任者
山形南 R C
大久保章宏

第3回 米山功労者マルチプル



天童 R C
野川 勝弘

ロータリー財団寄付表彰

PHF+4



寒河江 R C
大竹 正

米山奨学制度とロータリー財団の
意義を再認識しましょう！
ロータリアンは「与える文化」の
実践者です！



各種QRコード
よりログイン
ください。



MyRotary



地区
ホームページ



地区公式
Facebook



地区公式
LINE



コーディネーター
NEWS



ハイライトよねやま
vol. 289



5月の地区スケジュール

Schedule of May 2024

■ 青少年奉仕月間

1	水	
2	木	
3	金	(憲法記念日)
4	土	(みどりの日)
5	日	(こどもの日)
6	月	(振替休日)
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	第27回 日本青少年交換研究会 山形会議
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	米山学友会総会
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	国際大会 (シンガポール) 次期ガバナー補佐研修会 (GE)
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	惺山高校 IAC 活動視察
31	金	